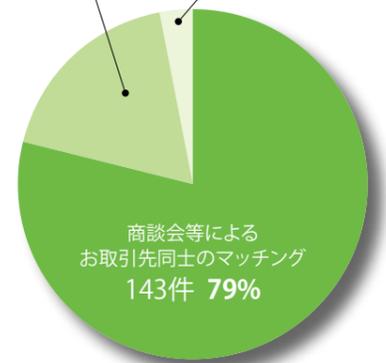


平成21年度上半期マッチング支援件数 前期比2倍の180件

～ 統合のシナジー効果を発揮し、新ビジネス創出を支援～

日常的なご相談を通じた
お取引先同士のマッチング
32件 18%

各事業の
連携によるご融資
5件 3%



平成21年度上半期(4～9月)の
マッチング実績180件

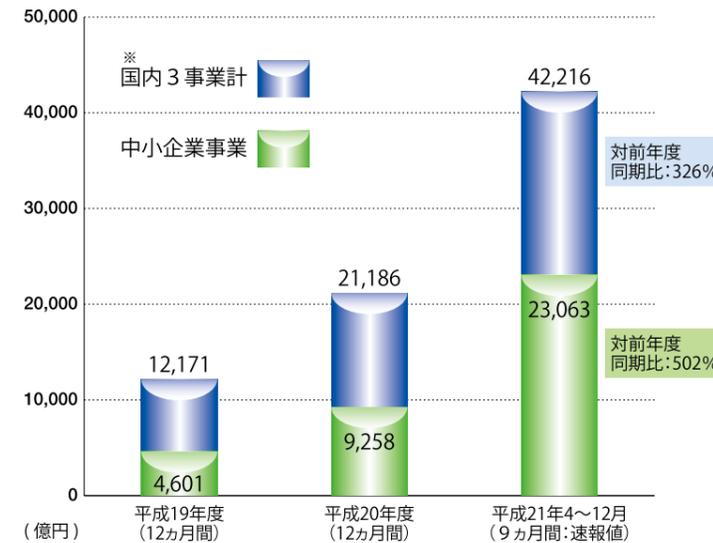
日本公庫では、平成20年10月の統合以降、シナジー効果を発揮し、顧客サービスの向上に努めています。平成21年度上半期に、日本公庫の各事業が連携して行ったお取引先同士のマッチング支援件数は180件となり、20年度下半期の75件を大きく上回りました。特にお取引先からのニーズが高い商談会、異業種交流会等の開催に力を入れており、支援実績の内訳は左表のとおりとなりました。

や小売業者などに農林水産物の安定調達先を紹介するケース、農林漁業者や食品メーカーに新たな販売先を紹介するケース、農工商連携による新商品や新技術の開発にあたり提携先・連携先をご紹介するケース等が多くなっています。今後も当公庫は各事業が持つ融資ノウハウやネットワークを活用して統合効果を発揮し、新ビジネス創出や販路開拓等を支援すべくマッチングサービスに積極的に取り組んでいきます。

セーフティネット貸付が大幅増加

～ 平成21年4～12月累計実績4兆2千億円、中小企業等の資金繰りを支援～

セーフティネット貸付実績の推移グラフ



日本公庫(国内3事業計)の特別貸付制度「セーフティネット貸付」における融資実績(平成21年4月～12月の9カ月間)が、4兆2千億円になりました。

同貸付制度については、平成21年12月8日に閣議決定された「明日の安心と成長のための緊急経済対策」において、取扱期間の延長や雇用維持・拡充対応の金利引き下げの強化などの対策が盛り込まれており、更なる支援措置を講じていきます。

当公庫は、国の施策に基づき政策金融機関として、今後もセーフティネット機能を発揮し、中小企業の皆さまを全力で支援してまいります。

中国上海取引先現地法人交流会を開催



当事業・勝野本部長の挨拶

日本公庫は、平成21年12月11日、中国・上海にて、海外職業訓練協会(OVTA)と共同で「中国上海取引先現地法人交流会」を開催し、上海周辺に進出する企業82社109名が出席しました。本交流会は、海外に進出しているお取引先の現地法人を中心としたビジネス交流を目的に、アセアン各国及び中国各地にて開催しているもので、統合前の旧機関(中小公庫)から実施していましたが、今回は統合のシナジー効果を活かし、当事業のお取引先だけでなく、国民生活事業のお取引先も初めて参加しました。



講演会の様子

講演会は「中国での工場経営成功の秘訣」、「最近増加している税関トラブルと対処法」のテーマと、日系中小企業への融資を積極的に取り組んでいる中国銀行から同行の融資制度を紹介して頂きました。参加者からは「経験豊富な講師による実例に基づいた説明で、非常に有意義であった」と好評でした。

懇親会では、企業同士が活発にビジネス交流を行うとともに、講師及び中国銀行の職員等と情報交換が行われました。

今後も海外に進出しているお取引先の現地法人支援の一環として、定期的に本交流会を開催していきます。

平成22年度予算(政府案)及び拡充が予定される貸付制度の主な内容

平成21年12月25日に、平成22年度予算(政府案)が閣議により決定しました。

この決定を踏まえた当事業各業務の事業規模は以下のとおりです。

(単位:億円)

中小企業者向け業務	22年度予算額	前年度当初計画
融資業務	23,000	24,400
証券化支援買取業務	401	751
証券化支援保証業務	280	420
売掛金債権証券化等支援業務	500	500

< 拡充が予定される貸付制度の主な内容 >

新製品の市場化等に 取り組む製造業者の方々に 支援する融資	○「企業活力強化資金の拡充」 ⇒貸付対象に『特定ものづくり基盤技術』を活用し、新製品の市場化等に取り組むかた」を追加(特別利率①)
地域活性化を支援する融資	○「企業活力強化資金の拡充」 ⇒貸付対象に「地域の活性化に取り組む商店街(地域商店街活性化法に基づく事業計画を作成した商店街)において事業を営むかた」を追加(特別利率②) ○「地域活性化・雇用促進資金の拡充」 ⇒貸付対象に「地方公共団体が推進する施策に基づき地域活性化に取り組むかたで、地方公共団体が認めた事業を営むかた」を追加(特定の要件を満たす場合には、特別利率①)
海外展開を支援する融資	○「海外展開資金の拡充」 ⇒貸付限度額を2億5千万円(別枠)から7億2千万円に拡充

編集後記

2010年を迎え、早や2カ月が経過しました。よく「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といいますが、時が過ぎるのは本当に早いもので、気がつけば桜散る季節・・・と

ならないようにしたいものですね。本号では、「お客様訪問レポート」の取材でホッピービレッジ様にお邪魔しました。副社長を始め、社員の方々の明るい笑顔と挨拶

に元気をもらいました。本年もお取引先の取組み事例をご紹介し、経営のヒントになるような広報誌としていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。(宮)